

特集

村で生きるという選択

未来をつむぐ挑戦

ぼく・わたしの夢

〔第100回〕

鮫川小学校6年生の児童に夢や目標を教えてくださいました。



プロゲーマーになりたい

五十嵐 翔さん

ぼくは将来の夢は、プロゲーマーです。プロゲーマーになって世界でも有名な選手になりたいです。きっかけは、友達とゲームをしていてとても楽しかったし、そのゲームでプロとしてやっている人もたくさんいたので自分もそうなりたと思ったからです。でも、ゲームだけではなく、学校や家での事などいろいろなことにも挑戦していきたいです。



中学校でがんばりたいこと

円谷真桜さん

わたしが中学校でがんばりたいことは、漢字の練習と部活動です。私は漢字がとても苦手なので、中学校でもがんばって覚えたいです。部活はスポ少でやっている卓球部に入りたいと思っています。小学校でも算数が好きなので、中学校の数学が一番楽しみです。目標としては英検などもいっぱい取りたいです。これからも小学校の勉強をがんばっていきたくです。

今月の表紙 / 未来をつむぐ挑戦



カメラにばっちり視線をくれたのは牛の「ねずこ」です。「この子は人間が少し苦手。この子は牛たちのお局（つぼね）的存在」とビジネスパートナーの牛たちのことを笑顔で教えてくれた岩佐さん。その優しい眼差しからは牛たちへの愛があふれていました。

SNSでも情報配信中

村公式アカウントはコチラ



Facebook



Instagram



Line

編集後記

■今回の特集を進めるにあたり「私は村のために何ができているのか」と自問自答を繰り返した1か月でもありました。■自分の意志が明確な人は強い。思いがある。実現させる力がある。そしてなにより人を動かす力があります。この人のために何かをしたい、そう思える人にたくさん出会えることは、とても恵まれていることです。そして、そうした人たちと出会えたこの村を誇りに思います。（藤田）

特集

村で生きるという選択

未来をつむぐ挑戦

令和5年4月に人口が3,000人を切った鯨川村。村の人口は減り続けており、出生数に至っては、令和6年度はわずか7人となってしまいました。人口減少や少子高齢化など、どうしても村のネガティブな面に注目してしまいがちですが、この村で生きることを選択し、新しい挑戦を始めた人たちもいます。

C O N T E N T S

特集「未来をつむぐ挑戦」……………2～15

【第1部】村の現実……………4～5

【第2部】夢を描く挑戦者たち……………6～11

挑戦者1 〔起業〕高木千春さん

挑戦者2 〔団結〕さめがわプライド

挑戦者3 〔移住・就農〕岩佐汐里さん

【第3部】挑戦者への支援……………12～13

起業・創業支援事業

未来へつなぐ多様な農業担い手応援事業

【第4部】村の新たな挑戦……………14

オーガニックビレッジを宣言

【第1部】村の現実

人口減少、少子高齢化、担い手不足― 村が直面する厳しい現実

村で昨年度誕生した子どもはわずか7人。出生率の低下とともに、村の人口は右肩下がりとなっています。

人口減少が止まらない

令和5年4月に人口3000人を切った鮫川村。なおも人口減少は止まることを知りません。

人口減少の主な要因には、少子化と高齢化が同時に進む少子高齢化が挙げられます。日本の人口は平成20年の1億2808万人をピークに

年々減少を続けています。（図①参照）

また、内閣府が公表している「将来推計人口」によると、日本の老年人口比率は今後も上昇を続け、2050年に総人口の35・7%を占め、極めて高い水準になると予想されています。少子高齢化は本村だけでなく、日本全体の社会問題でもあります。

失われる地域の活力

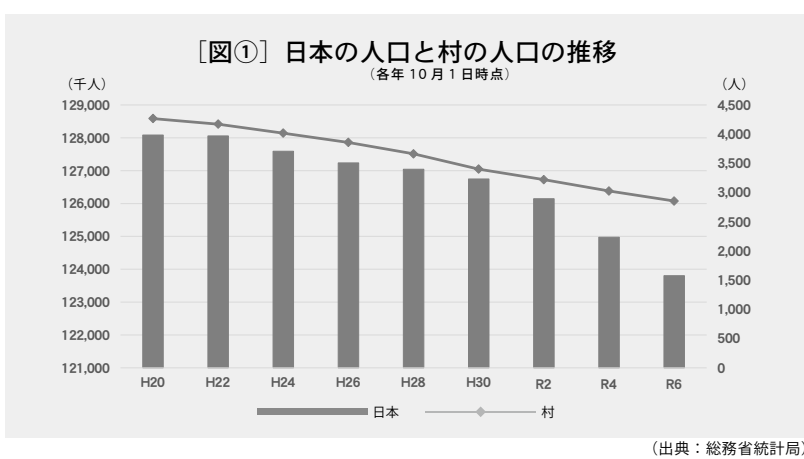
人口の年齢構成も少子高齢化により大きく変わります。内閣府によると、少子高齢化により、年少人口（0歳～14歳）の総人口に占める割合が低下するだけでなく、生産年齢人口（15歳～64歳）の総人口に占める割合も低下していくことが予想されています。

生産年齢人口は、社会の中で経済活動を支える中心的な存在です。生産年齢人口の減少は鮫川村のような過疎地域に大きな影響を及ぼします。

一方で、支える世代（生産年齢人口）が減少するため村の財政負担は増加していきます。

夢を抱ける環境を

平成15年に鮫川・西山・西野・富田・渡瀬の村内5つの小学校が統合し、さらに平成30年には青生野小学校と鮫川小学校が統合しました。村内の子どもたちすべてが鮫川小学校に通うようになり8年が経過します。



働き手の減少により税収が減り、公共サービスやインフラの維持が困難になります。また、地域経済の担い手が不足することで産業の衰退が進み、地域の活力が失われる危険性もあります。

さらに、高齢者人口が増加し、福祉や医療などの支出が増える

統合後の鮫川小学校の児童数をみてみると、この7年間で急激に子どもの数が減少していることが分かります。（図②参照）村はこうした少子化の状況を踏まえ、幼保小中学校間で「つながる教育」を展開しています。つなぐ教育は、村で夢と希望を持つて学び続けられる環境を整えていくことを目標としています。

子どもたちは村の大人の姿を見て育ちます。子どもたちがこの村で未来に向けて夢を抱ける環境を作ることは、私たち大人の大切な役割でもあります。

この村で生きていく選択

人口減少や少子高齢化、担い手不足―。厳しい現実直面する中でも、夢の実現のためにこの村で生きていく選択をした人々もいます。

その強い思いは、子どもたちや私たち住民に夢や希望を与えてくれます。この村の未来をつむぐ挑戦者たちの思いを聞きました。



【第2部】夢を描く挑戦者たち

挑戦者1 [起業]

どうせやるなら、とことん

来年1月で創刊6周年を迎える村唯一の新聞社「さめがわ豆新聞」。
どうせやるなら、とことんやる——。
そんな強い思いを胸に、仕事にも地域にも全力で向き合います。

鮫川村は自分の原点

「さめがわ豆新聞を立ち上げたきっかけは、かつこいい理由ではない」と笑いながら話す高木さん。出版社でサラリーマンとして働く中で、ストレスを感じ精神的に参ってしまったとき「自分の原点である鮫川村に戻ろう」と強く思いました。

村に戻り、改めて村の良さを再認識したという高木さん。村へ恩返しをしたいという思いと、友人たちからの後押しもあり、自分のスキルを活かせる新聞の発行を思いつきました。
事前に入念に検証を行い、需要がありそうだと見込みがたつ



さめがわ豆新聞・代表

高木千春 さん

令和2年1月にさめがわ豆新聞を創刊。12月1日現在第543号を発行。
趣味はゴルフ。座右の銘は人己腹心気。

たこともあり、令和2年1月にさめがわ豆新聞の創刊に踏み出します。

待っていてくれる人たちがいる

創刊からまもなく6年。さめがわ豆新聞が徐々に村に定着し、発行を待っていてくれる人がいるありがたさを日々感じると話す高木さん。

これからの目標を聞くと「人口が減ることは避けられない。そんな中でも読まれ続ける、なくてはならない存在になりたい」と力強く話してくれました。紙媒体の衰退の流れがある中でも選ばれる存在を目指します。

支えてくれる家族への感謝

「新聞は自分の思いだけでは届かない。配達も大切なキーポイント」と、当初から配達を手伝ってくれている家族への感謝を口にします。「普段は恥ずかしくて言えないので、このインタビューを通して感謝を伝えさせてください」と、照れくさそうに話します。

これからの村を背負う覚悟

創刊から3年間は無我夢中で走り続けたという高木さん。3年前からは周囲に目を向けるため、人材育成を目的とした「地域貢献団体さめレンジャー」を立ち上げました。「自分の活動以外にも、自分たちの時代だという気持ちで立ち上がっている若い人たちがいる。自分も歩みを止めずに、その中の一人であり続けたい」と話します。
「どうせやるなら、とことんやりたい」。その言葉からは、これからの村を背負っていくという強い覚悟を感じました。



①取材・ライター・印刷・配達までこなす ②中学生に新聞づくりを指導 ③取材先ではいつも人気者



Interview

さめがわ豆新聞が家族みんなの楽しみ

千春さんはかわいい存在で、発刊当初から購読しており応援しています。村内の細かい情報がすぐに分かるので、家族みんなで読むのを楽しみにしています。ひとりで仕事をこなしているので大したものだと思います。地区で何かイベントごとがある時は連絡するようにしており、少しでも協力できればと思っています。過疎地だからこそ、村の情報をどんどん発信して欲しいし、続けていてもらいたいです。



さめがわ豆新聞購読者
坂本忠雄さん =岩野草=



小松孝次さん
小松農園

減農薬栽培で
安心安全を食卓へ

脱サラして就農し、4年になります。現在はイチゴをメインに栽培・出荷をしています。減農薬栽培で安心安全を食卓に届けられるよう心がけています。今後はイチゴの加工も視野に入れながら、徐々に事業を拡大していければと考えています。さめがわプライドのメンバーの活躍にはいつも刺激を受けています。「鮫川の小松農園と言えばイチゴ」と言われるような存在を目指します。



白坂忠幸さん
白坂農園

農と遊び、作る楽しさ
喜びを伝えたい

農家の長男なので漠然と継ぐことを考えていました。親の代から受け継いだ鮫川ウドや長芋、ニンジンなどを出荷しています。白坂農園の知名度も上がり、リーピーターも多くなりました。さめがわプライドのメンバーには教えるだけでなく、教えてもらったりしながら互いに頼りにしています。子どもたちに作る楽しさ、喜びを伝えながら、野菜を通して村のPRもしていきたいです。



進士陽平さん
(一社)あぶくまNSネット

循環型農業で環境にも
人にも優しい作物を

友人とニンジン育てたことをきっかけに、3年前に本格的に農業を始めました。循環型農業を軸に環境にも人にも優しい作物づくりを心がけており、無農薬にこだわった米や野菜、平飼卵などを出荷しています。経験が少ないので、さめがわプライドという仲間ができたことはとても心強いです。村のオーガニックビレッジ宣言もあり、今後は学校給食への出荷を増やしたいと考えています。



清水大翼さん
ファームつばさ

酪農の無限の
可能性を創造したい

子どもの頃から動物が好きで、学生時代に北海道で酪農に出会いました。将来は村に戻ると決めており、平成29年に、ジャージー牛を飼育するファームつばさをスタートさせました。さめがわプライドのメンバーは業種は違いますが、助け合える仲間です。酪農の無限の可能性を追究しながら、今後は導入したキッチンカーの認知度の向上とともに村のPRも積極的に行っていきたいです。



挑戦者2「団結」

農業を通して子どもたちに 夢や希望を届けたい

「農業で村を盛り上げたい」。
そんな共通の思いを持つ若者たちが
チーム「さめがわプライド」を結成しました。

チャンスは誰にでもある

村内の若手農業者4人が令和5年に結成したチーム「さめがわプライド」。その活動は、本業の農業はもちろん、首都圏での物産販売やこどもセンターの園児が育てる畑の支援など多岐に渡ります。

4人が手がける分野は異なりますが「農業を通して村の子どもたちに夢や希望を届けたい」という思いは同じです。発起人であり、さめがわプライドのリーダーを務めるのは白坂忠幸さん（酒垂）。「農家は孤独な仕事。それぞれ業種は違うが互いに支えになっている」と話します。「チャンスは誰にでもある」。

この村で挑戦する姿を、農業を通して体現していきたい」と4人は力強く話してくれました。

子どもたちが誇れる村に

昨年、こどもセンターに野菜の苗を提供。子どもたちが育てた野菜を手まめ館の感謝祭で販売し、その売り上げを寄付する活動をしています。今年も販売を行いあつという間に完売。協力してくれた人への感謝を口にします。

「子どもたちが誇れる村でありたい」。そんな村の未来の実現のため、農業を通して4人は知恵を出し合い、協力しながら前に進みます。



①エサの配合にも気を使います
②搾乳作業を手際よく行う岩佐さん ③看板ヤギのきびちゃん



「酪農は牛と一緒に働いているという感覚。自分は牛のために働くし、牛もそれに応えてくれる。ビジネスパートナーのような存在です」と話す岩佐さん。仕事のパートナーである牛たちを見つめるまなざしは愛情であふれています。

きれいに清掃された牛舎で、牛たちはリラックスした様子で思い思いに時間を過ごしています。「牛舎の布局（つばね）ももちろんいるし、寝方のクセが強い子もいる。エサの干し草を水に浸してから食べる子もいるんです。毎日同じ作業をしています。毎日飽きません」と岩佐さんは牛たちのことを笑顔で話します。

牛はビジネスパートナー

「作業をしていると、景色がきれいだなと毎日感じます。季節によって表情を変える自然を楽しんでいます」と村の魅力を話します。

で念願の自分の牧場「岩佐牧場」をスタートさせました。

「まずは経営を安定させ、うまく回せるようになることが目標です。長期的には、岩佐牧場が鮫川村に溶け込み、当たり前存在になれば」と話す岩佐さん。念願の夢だった自分の牧場をスタートさせ、着実に歩みを進めます。

牛たち、そして自分自身ののびのびと暮らせるこの村で、牛と共に生きていきます。

牛と共に生きていく

機械が壊れたり、なにか困ったことがあるとすぐに連絡するのが、村へ移住後にお世話になった関根ファームの関根さん夫妻（土路部）です。「連絡するとすぐに駆け付けてくれる」と信頼を寄せます。また「就農直後は準レギュラーのごとくサポートしてれた」と笑顔で岩佐さんが話すのは三瓶稔さん（葉貫）です。「精神的な支えでもありました」と感謝を口にします。

頼りになる村の人たち

挑戦者3 「移住・就農」

この村で牛と共に生きていく

令和5年12月に鮫川村に移住し、学生のころからの夢だった牧場をスタート。たまたま訪れた鮫川村に移住を決めたのは直感でした。美しい里山景観が残るこの村で、牛と共に生きる道を選びました。

学生時代からの夢



岩佐牧場
岩佐汐里さん

神奈川県出身。令和5年12月に鮫川村に移住。翌年9月から牧場をスタート。趣味は読書、楽器演奏、お笑い鑑賞。

「牛乳が好きで浴びるほど飲みたい欲があった」と酪農を志したきっかけを岩佐さんは笑顔で話します。

大学で畜産を学び、「いずれは自分の牧場を持ちたい」という思いを胸に秘め、牧場で働き始めました。そして、たまたま訪れたのが鮫川村でした。

念願の牧場をスタート

県南地域をドライブした際、鮫川村で見た川が気に入ったと話す岩佐さん。自身も牛も住みやすい土地を求め、ここ鮫川村



関根ファーム
関根英也さん・榮子さん
＝土路部＝

Interview

畜産業界を引っ張る存在に

移住して1年弱、アルバイトで働いてくれましたが、こんなに牛が好きで思いが強い人は初めてです。酪農にける情熱を感じました。汐里さんの仕事は早いし丁寧。気も利いていて、率先して働いてくれました。さらに素晴らしいのは、酪農に関する高い技術も持っていること。これからは地域の人とも交流しながら、酪農を通して村のリーダーとして畜産業界を引っ張って行って欲しいです。そういう力を持った人材だと思います。



(株)キオクオキバ・代表

佐藤広基さん =田尻=

学生時代に起業。令和6年2月に村にUターン。新規事業としてパソコン教室の運営を始める。

子どもたちに将来の選択肢を増やしたい

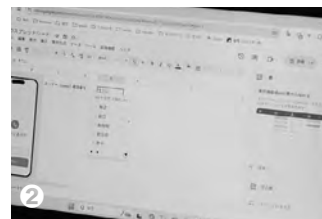
村内初のパソコン教室を設立

2年前に村に戻り、以前から考えていた村全体のITリテラシー向上とIT教育の機会創出のため、村内の空き家を借りてパソコン教室を始めました。対象は小中学生から社会人、高齢者まで幅広く設定しており、現在は村内外から7人の生徒が通っています。教室として利用する空き家の改修や備品の購入など、教室を始めるための準備に村の「起業・創業支援事業補助金」を活用しています。

村内でIT教育を受けることができる環境を整えることで、世界観が広がり、将来子どもたちの選択肢が増えればいいと思います。このパソコン教室が種となり、村の中に新たな可能性の芽が育ち、いつか大きな木となって実を結ぶ日が来ることを願い、今後も活動していきます。



①



②

①さまざまな世代が通うパソコン教室 ②この日はアプリの設計の授業

家族ともいえる馬が過ごしやすい環境を求めて

引退馬の預かり施設をスタート

自分の2頭の馬を最期まで面倒をみてあげたいという気持ちから「お馬のお家」を立ち上げました。人づてに知った鮫川村の開けた土地を見て、馬が過ごしやすい環境があると思い移住を決めました。馬の預かり以外にも、馬糞を肥料にして野菜を育て、オンラインで販売しています。

村の「起業・創業支援事業補助金」を活用し、馬屋の改修などを行いました。窓がついたことで夏場も風が通り抜け、馬も快適に過ごさせています。地域の皆さんもとても協力的でありがたいです。今後は馬の預かりを徐々に増やし、生産している野菜の直売所を開くなど、立ち寄ってもらった人が楽しめるような事業を展開していきたいです。



①



②

①栗林さんとのびのびと過ごす7頭の馬たち ②以前使用されていた牛舎を改修した馬屋



NPO法人お馬のお家

栗林信文さん =前ノ沢=

京都府出身。川崎競馬場で調教師として令和6年4月まで勤め、神奈川県から鮫川村に移住。馬の預かりを行うNPO法人を設立。

【第3部】挑戦者への支援

夢の実現を応援します

人口減少や高齢化が進むことで、空き家や耕作放棄地の増加も深刻な問題となっています。そうした課題の解決を目指し、村は新たに商工業や農業でがんばる挑戦者たちを応援します。

▼起業・創業支援事業

村内の商工業は、経営者の高齢化や後継者不足などにより、事業所の数は年々減少を続けています。

そのような中、村は令和6年度から、地域の経済活動を活性化させるため、村内で新しい事業を始めようとする個人や村内にオフィスなどの施設を新しくつくる企業などを対象に、その費用の一部を補助しています。

また、すでに事業を行っている人や会社だが、これまでの業種とは全く異なる新しい事業に切り替えたり、新たな分野に進出する場合も補助の対象となります。

補助の対象は、オフィスなどを開設する改修工事費や備品購入費、委託料などです。補助金の額は対象となる経費の3分の2、上限は30万円となっています。

す。対象となる経費の総額が5万円以上が対象となります。これまでに5件の申請があり、村内で新たな事業がスタートし始めています。補助金を交付することで、起業時に発生する設備投資などへの負担を減らし、村での事業経営を支援します。

農林商工課商工観光係

☎ 49-3113

▼未来へつなぐ多様な農業担い手応援事業

村の美しい里山景観は、農業や草刈りなど人が管理することで保たれています。しかし、村では担い手不足による農業の衰退が進んでいます。

村は令和6年度から、農業担い手の確保・育成・定着のため4つの事業からなる「鮫川村未来へつなぐ多様な農業担い手応援事業」を実施しています。その中の一つである「新たな

農業担い手応援事業」では、村の次代の農業を担う新たな就農者の確保・育成を図るため、村内で新たに農業を始める認定新規就農者に対し補助を行っています。

この事業は、国が行う新規就農者育成総合対策の対象となる認定新規就農者（就農時49歳以下）であることが条件となっています。該当する場合、国・村

の両方の補助金を合わせると、1か月17万5千円が補助されることとなります。（※国：最長3年間、村：最長5年間）
これにより、就農時にかかる設備投資などの多額の負担を減らすことで、村での新規就農への道を後押しします。

農林商工課農林畜産係

☎ 49-3113

【第4部】村の新たな挑戦

オーガニックビレッジを宣言

村は、先人から受け継いだ美しい里山景観と農地を守り、次世代に継承するため、オーガニックを核とした村づくりに取り組みます。

新たなステップへ

阿武隈高地南部の中山間地域にある鮫川村は、流域として里山の景観と清らかな水、多様な生き物に恵まれ、古くから農業が盛んに営まれてきました。

村はこれまで「まめで達者な村づくり事業」に取り組み、大豆を軸とした農業振興と6次産業化を進めるとともに、「鮫川村バイオマスヴィレッジ構想」に基づき、循環型農業と里山景観の保全を推進しています。

そして、土づくりに着目したこれまでの取り組みをさらに加速させるため、オーガニックを核とした新たな挑戦「オーガ

オーガニックビレッジ基本理念

- 「里山景観」「水」「生物多様性」を村の宝として守り、たい肥などの地域資源を活かして、環境保全型農業の推進を目指します。
- 未来の担い手である子どもたちの心身の健康を守るため、学校給食の充実を目指します。
- 有機農業の推進を図り、村民が健康で心豊かに暮らすことができる持続可能な村づくりを目指します。

【オーガニックビレッジとは】有機農業の拡大に向けて、生産から消費まで一貫した取り組みを、農業者や住民などが地域ぐるみで進める市町村

ニックビレッジ」を11月2日に宣言しました。

持続可能な村づくりへ

オーガニックビレッジ宣言は一つのきっかけとなり、新たなビジネスが描かれる可能性を秘めています。地域ブランドの確立や地産地消の推進など、農業だけでなくさまざまな分野での相乗効果が期待されています。

オーガニックを核とした村づくりは、持続可能な村づくりへの一歩でもあります。

オーガニックビレッジの詳細は1月号でお伝えします。

生まれ育った村で夢を描く人。

夢をかなえる場所にこの村を選んだ人。

この村で生きていく選択をした挑戦者たちは

前を向き着実に歩みを進めています。

その姿は、私たちにこの村で生きていくことへの夢や希望、

そして、たくさんの可能性を示してくれています。

皆さんは、この村でどんな未来をつむぎますか。



東京農業大学国際食料情報学部
国際農業開発学科

入江満美 准教授

Voice/ 子どもの食を通じた持続可能な循環の確立を

この村を未来へつなぐ鍵は「子どもの食」を通じた持続可能な循環の確立があります。土や水に配慮して作った新鮮でミネラル豊富な野菜やお米を、毎日給食で食べる。この習慣が、村の子どもの丈夫な体をつくり、高い免疫力と豊かな幸福感をはぐくみます。地元産品の活用は自然資本を守ることにもつながります。豊かな自然、農業、健全な食生活、子どもの幸福感。これらを循環させる給食からの食への投資こそが、村を未来へつなぐ最も大きな鍵です。

令和6年度鮫川村人事行政の運営などの状況

01. 職員の任免および職員数に関する状況

■ 職員数の状況（各年度4月1日現在）（単位：人）

部門	一般行政部門									特別行政部門		普通 会計 計	公営企業				合計
	議会	総務 企画	税務	民生	衛生	農林 水産	商工	土木	小計	教育	小計		病院	水道	その他	小計	
令和7年度	1	16	3	12	5	7	2	5	51	13	13	64	2	1	3	6	70
令和6年度	1	15	3	12	4	7	3	5	50	11	11	61	3	1	3	7	68
増 減		1			1		△1		1	2	2	3	△1			△1	2

※特別職は含めません。

■ 採用および退職の状況

令和6年度採用者数	2人
令和6年度退職者数	3人

02. 職員の給与の状況

■ 人件費の状況（令和6年度普通会計決算）

住民基本台帳人口 （令和7年1月1日）	歳出額（A）	実質収支	人件費（B）	人件費率（B／A）
2,820人	3,698,701千円	182,972千円	743,224千円	20.1%

■ 職員給与費の状況（令和6年度普通会計決算）

職員数（A）	給 与 費				一人あたり給与費 （B）／（A）
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計（B）	
61人	229,690千円	37,932千円	99,790千円	367,412千円	6,023千円

■ 職員の平均給与額および平均年齢

	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	41.5歳	325,527円	386,437円

■ 職員の初任給の状況

	大学卒	高校卒
一般行政職	200,500円	169,900円

■ 時間外勤務手当の状況

	令和6年度	令和5年度
支給実績	15,676千円	17,667千円
1人当たり平均支給年額	256,984円	353,000円

■ 特別職の報酬等の状況

	給料・報酬月額	期末手当
村 長	528,000円	3.07月分
副村長	481,000円	
教育長	455,000円	
議 長	234,000円	3.35月分
副議長	176,000円	
議 員	161,000円	

03. 職員の人事評価の状況

村では平成28年度から人事評価制度を導入しました。職員の勤務成績の評定を一方的に行う勤務評定とは異なり、能力評価と業績評価の両面から評価を行い人事管理の基礎として活用することで、組織全体の士気高揚、公務能率の向上、住民サービスの向上を目的としています。

04. 職員の勤務条件の状況

■ 職員の勤務時間

1週間の正規の勤務時間	38時間45分
1日の正規の勤務時間	7時間45分
開始時刻	8時30分
終了時刻	17時15分

■ 年次有給休暇の使用状況

	平均取得日数	取得率
令和6年	23.4日	28.4%
令和5年	10.1日	20.0%
増減	13.3日	8.4%

■ 令和6年度育児休業の取得状況

	男性	女性
育児休業	0人	3人
部分休業	0人	0人

05. 分限処分と懲戒処分の状況

・分限処分…なし ・懲戒処分…2件

06. 職員のサービスの状況

■ サービス規律の順守に関する取り組み（令和6年度）

夏季・年末などに周知したほか、必要に応じて随時、職員への周知を行いました。

■ 職員の退職管理の取得状況

再就職者による依頼などの承認申請	0件
再就職者から依頼などを受けた場合の届出	0件

07. 職員の研修の状況

新規採用、係員、係長、管理者など職務の階層別の研修のほか、個々の職員が習得したい知識研修や専門研修などを積極的に実施しています。

	受講者数
ふくしま自治研修センター	延べ11人
人事評価研修	61人

08. 職員の福祉と利益の保護の状況

■ 職員互助会への補助金の交付額

交付額 …107千円

実施概要 …道路愛護および衛生用品配付等の福利厚生事業に対する補助

■ 公務災害・通勤災害の状況（令和6年度）

公務災害	1件
通勤災害	0件

■ 職員の利益の保護の状況

勤務条件に関する措置要求の状況	0件
不利益処分に対する不服申し立ての状況	0件

■ 健康診断などの実施状況

	受診者数
生活習慣病予防健康診断	98人
子宮がん検診	27人
乳がん検診	21人
脳ドック	2人
人間ドック	2人

花開いた努力 全国大会という晴れ舞台に立つ

全国大会という晴れ舞台への出場を決めた高校生の2人。
高校から取り組み始めた部活動で
見事に努力が花開いた2人の気持ちを聞きました。



第92回NHK全国学校
音楽コンクール

目黒豪心さん(安積黎明高校2年) 〓本坂〓

仲間との一体感 団結感が合唱の魅力

中学3年生のときに特設合唱部で独唱したことが合唱を楽しみと思ったきっかけです。合唱は仲間との一体感・団結感が魅力だと思います。安積黎明高校が合唱の強豪校とは知らずに入学しましたが、友人の誘いもあり合唱部に入部しました。10月に行われたNHK全国学校音楽コンクールでは、安積黎明高校混声合唱で始めて全国大会の舞台に立つことができました。NHKホールはとても広く大きかったです。歌っている最中は、体中が熱くなりやる気が満ちあふれてくるような、今までにない感情を味わうことができました。3年生が引退して初めての大会は冬に開催されるアンサンブルコンテストです。全国・世界からも参加する大会なのでとても楽しみです。

茶道部に所属していますが、8月末に先生から声をかけてもらい、コンピューター部の活動に参加しながらロボット相撲を始めました。ロボット相撲は、相手の動きを見てどのパターンで戦うかを考えてロボットを動かし対戦する競技です。高校で受け継がれている、すでにプログラミングされているロボットを操作しています。ロボット相撲の魅力は、自分でどう戦うかを考え、戦略を立てて戦う所です。相手に勝った時に達成感を感じます。9月の東北大会で優勝し、12月6日(土)・7日(日)に両国国技館で行われる「全日本ロボット相撲2025決勝大会」の500^g自立型に出場します。これまで、いろいろなことを練習してきました。全国大会では優勝を目指して頑張りたいです。

岡部莉久さん(白河実業高校1年) 〓大塩〓

自分で考えて 戦略を立てる楽しさ



全日本ロボット相撲
2025 決勝大会



勢いよくスタートする前田主将

第37回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)は11月16日(日)、しらかわカナルスポーツパークをスタート、県庁前をゴールとする16区間、96・3キロのコースで開催されました。
本村チームは、目標としていた昨年度の総合36位を上回ることはできませんでした。全員が力走をみせ総合40位・村の部8位(6時間35秒)という成績を残しました。鈴木悟監督は結果は悔しいが、選手数が少ない中で、最後まであきらめずに練習し、一人一人が頑張ったと選手たちを称えました。
監督、コーチ、実行委員会、選手の保護者、村民の応援。たくさんの力を背に、選手たちはタスキをつなぎました。

第37回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 村民の思いを胸にタスキをつないだ96キロ



INTERVIEW



森田慎也さん
=菅ノ目=

40歳でふくしま駅伝デビュー

社会人になり30歳から走り始めたという森田さん。当初は走ることが苦手だったそうです。さめがわチームに合流し3年が経ち、40歳にして初めてふくしま駅伝を走りました。「初のふくしま駅伝は楽しかった。まだまだこれから伸びしろがあると思って、来年に向けてがんばります」と初めてのレースを振り返りました。

詐欺被害にあわないために



+（国電話）から始まる国際電話は絶対に取らない！

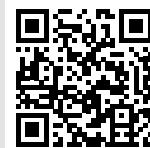
詐欺の犯人は国際電話番号を使って詐欺の電話をかけてきます。固定電話の場合は国際電話の利用停止サービスを活用し、予防しましょう。

国際電話
不取扱受付
センター

☎ 0120-210-364

オペレーター案内：平日午前9時～午後5時
自動音声案内：平日、土日祝日24時間

WEBからの
申し込み



電話でお金のお話が出たらすぐに切る！

警察が金銭を要求することは絶対にありません。電話やビデオ通話を通して逮捕することも同様です。犯人は言葉たくみにあなたを誘導します。



あなたが詐欺の共犯
という証言がある

逮捕状が
出ている

銀行口座が
不正利用されている

情報をもらすと
懲役・罰金になる

あなたには
守秘義務がある



棚倉警察署鮫川駐在所
湯田敏博 巡査部長

親しい人と話し合ってみましょう

世代を問わず詐欺被害が発生しており、詐欺はいつだれが被害にあうか分かりません。

家族が集まる年末年始や、隣近所の人とも話題のひとつとして、詐欺被害にあわないためにはどうしたらよいか話し合ってみましょう。

また、少しでも不審なことがあればすぐに警察に相談してください。

被害が急増しています



『ニセ警察詐欺』 にご注意を！

国際電話番号を使用した詐欺被害が急増しています。
詐欺被害の例を見ながら注意するポイントを確認しましょう。



なんだかこの人
怪しいぞ？

見たことない番号
だけど出てみるか

+1(800)XXX-XXXX

ちょっと待った！

+（国電話）は国際
電話です。着信に
身に覚えはありませんか？



▲▲警察署の高木です。あなたの口座
が詐欺に使われています。今すぐ〇〇
県の警察署まで出頭してください。

ちょっと待った！

警察が電話で
出頭を依頼する
ことはありません。

〇〇県なんて遠くて行けないよ！
身に覚えが無いのにどうしよう！！



これ本物の
警察手帳ね

すぐ来れないなら、特例でビ
デオ通話で取り調べします。
口座のお金が不正なものでない
か調べるので、今すぐ指定
の口座に送金してください。

なんてことだ…

ちょっと待った！

警察がビデオ通話
を要求することは
ありません。



今回も
ひともうけ
したぜ。



悪いことしてないのに捕まっ
ちゃうよー！
お金を確認してもらうため
に、すぐに送金しなきゃ！！

うわーん



いつまでも健康な歯でいるために 歯周病検診を受診しましょう

いつまでも健康な歯で過ごすため、村は対象の人に料金全額助成による歯周病検診を実施しています。

今年度は、さががわ歯科医院が7月末で閉院となったため、臨時の歯科医師に依頼し検診を実施します。

検診は予約制となつていきますので、対象者で検診を希望する人は電話またはオンラインでお申し込みください。

対象

村内に在住する20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳になる人

※令和8年3月31日時点
※検診受診日までに村に住民票がある人

※対象者には案内文書をお送りしています。

検診内容

個別検診（口腔パノラマ撮影、口腔内検査、口腔衛生指導、必要に応じて口腔清掃など）

導、必要に応じて口腔清掃など）

実施場所

旧さががわ歯科医院（村保健センター内）

検査日時

令和8年3月までの指定の日時

※詳しくは案内文書を確認するか、オンラインの予約画面をご覧ください。

予約方法

住民福祉課健康係へ電話するか、QRコードを読み取りオンラインで予約してください。

自己負担金

無料

持ち物

保険証・歯ブラシ



予約はこちら



住民福祉課健康係

☎ 49-3112

骨粗しょう症に注意しましょう

埴厚生病院で検診実施中

骨粗しょう症は自覚症状が少ないため、定期的に骨密度検査を受けるなど日頃からのチェックが大切です。

村は、国の指針に合わせて40歳～70歳までの5歳刻みで骨粗しょう症検診を実施していますが、埴厚生病院では、より詳細な骨密度検査やX線検査も実施しています。

自己負担額

4,400円

対象

村内の住民

予約方法

埴厚生病院（☎ 43-1145）の整形外科または

住民福祉課健康係

☎ 49-3112

内科、健康増進課に直接電話で予約をしてください。

▼心当たりはありませんか？

- ・背中が曲がった
- ・背が縮んだ
- ・腰が痛い



50歳を過ぎると骨粗しょう症のリスクが高まります。当ではまるごとがあれば、骨粗しょう症による「いつのまにか骨折」かもしれません。医療機関にご相談ください。



村内企業情報

村内における最新の求人情報を、下記QRコードからいつでも確認できます。



将来受け取れる年金額を増やせます 付加保険料を活用しましょう

月々の国民年金保険料に加えて、月額400円の付加保険料を上乗せして納めると、将来受け取る老齢基礎年金に付加年金が加算されます。

付加年金額（年額）は「200円×付加保険料納付月数」で計算し、2年以上受け取ることで、支払った付加保険料以上の年金を受け取れる計算になります。

対象

国民年金第1号被保険者
65歳未満の任意加入被保険者

申込先

年金事務所または住民福祉課住民係

※申し込んだ月からの納付となります。さかのぼって納付することはできません。

※付加年金は定額のため、増額・減額はありません。
※国民年金基金加入者は納付できません。

問 日本年金機構 日河年金事務所
☎ 0248-2714161

問 住民福祉課住民係

☎ 49-3112

付加保険料を 10年間納めた場合

■支払う付加保険料

400円×12か月×10年
= **48,000円**

■受給できる付加年金額

200円×12か月
= **24,000円/年** 受給1年目
= **24,000円/年** 受給2年目
：
= **24,000円/年** 受給10年目

2年以上の受給で、10年間の支払額を上回ります。



報酬などの額を審議

特別職報酬等審議会に諮問

し、議会に諮ります。

【審議委員】

▼会長 佐藤文夫（人権擁護委員）
▼会長職務代理者 松本一治（民生児童委員協議会会長）
▼委員 本郷秀季（民生児童委員協議会副会長）
古舘勝人（商工会会長）
高木千春（さががわ豆新聞社代表）

問 総務課総務係

☎ 49-3111

村長や副村長、教育長、議会議員などの特別職報酬などを審議するため、村は特別職報酬等審議会を10月に諮問しました。会長には佐藤文夫さん（火打石）、会長職務代理者に松本一治さん（鋤木田）が選出されました。

特別職の報酬については平成19年の改定が最後となっており、令和4年度に行われた前回の審議会では「人口減少や今後の財政状況を鑑み、村民の理解を得られる適切な時期ではない」とし改定を見送っています。

11月12日（水）に行われた第3回会議では、現在の物価高騰などに対応するものとして「5%程度の値上げが望ましい」との結論を示し、佐藤会長が宗田村長に答申書を手渡しました。

今後は提出された答申書をもとに報酬などの額を検討



▲答申書を宗田村長に手渡す委員



受賞を報告した赤坂さん（右）

町村監査功労者受賞を報告 8年に渡り東白衛生組合監査委員を務める

町村監査功労者を受賞した赤坂博男さん（木之根）が11月7日（金）に役場村長室を訪れ、受賞を報告しました。赤坂さんは東白衛生組合の監査委員を平成29年10月から令和7年10月までの2期8年務め、10月16日（木）に渋谷公会堂で行われた表彰式でその功績を表彰されました。県内の受賞者は赤坂さん含め2人で、宗田村長は功績をたたえました。

役場の仕事を体験

修明高校2年生3人が職場体験

11月12日（水）～14日（金）の3日間、修明高校2年生の3人が職場体験で役場を訪れました。村づくり推進室、住民福祉課、農林商工課の3課室で、それぞれデマンド交通の販促グッズのデザインや筋力教室の手伝い、フォトコンテストの審査会の手伝いなどを行いました。さまざまな業務を体験した高校生は「大変だったけど楽しかった」と笑顔で3日間を終えました。



職員にインタビューをする高校生



盛り上がりを見せた「さめがわ〇×クイズ」

晩秋の鹿角平を満喫

ウォーキングイベント・マルシェが開催

10月26日（日）に鹿角平観光牧場で、「さめがわむらぶトレジャーウォーキング」と「第2回さめがわ美しいものマルシェ」が開催され、村内外から来場者が訪れ秋の鹿角平を満喫しました。あいにくの天気の中でのイベントとなりましたが、あたたかい豚汁や一閑張りのバック販売、バードコールづくりやジャージー牛との触れ合い体験など村ならではの出店を楽しみました。



消防車の体験をする子どもたち



雨天でもウォーキングを楽しんだ参加者



優勝を喜ぶ渡瀬Bチーム

渡瀬Bチームが有終の美を飾る 村ゲートボール協会球納め

10月22日（水）に、さざり荘ゲートボール場で今年度最後の大会となる村ゲートボール協会会長杯争奪ゲートボール大会が行われ、各地区から7チームおよそ50人が参加しました。気温がぐっと下がった寒空の下、参加者は元気にプレーし、今年度最後となる大会を楽しみ、閉会式では坂本忠雄会長が参加者を労いました。
▶優勝＝渡瀬B ▶準優勝＝西山 ▶3位＝西野、渡瀬A

工夫を凝らした発表で魅了

さめっ子フェスティバルが開催

10月25日（土）に鮫川小学校（吉田智校長）で、さめっ子フェスティバルが開催され、それぞれの学年が工夫を凝らした発表を行いました。下級生は元気いっぱいの劇や見事な楽器演奏を行い、上級生は心のこもった演技や歌などを披露し、来場した来賓や保護者からは笑いや、時おり涙ぐむ様子も見られました。どの学年も練習の成果が光る素晴らしい発表でした。



走れメロスを演じた6年生



受賞を報告した小森さん（右）

知事感謝状受賞を報告

15年以上に渡り福祉向上に寄与

村民生委員・児童委員を務める小森洋一さん（戸草）が県社会福祉大会で知事感謝状を受賞。10月27日（月）に役場を訪れ宗田村長に受賞を報告しました。小森さんは村民生委員・児童委員を15年以上務めており、地域の社会福祉に向上したとして感謝状を受賞しました。報告を受けた宗田村長は小森さんにこれまでの活動の感謝を伝え、受賞をたたえました。

思いを言葉と歌にのせて

第30回少年主張大会・音楽発表会が開催

第30回村少年主張大会・第23回音楽発表会が11月1日（土）に村公民館で行われました。主張大会では小中学校生5人が、日常生活で感じたことなどを堂々と発表しました。続けて行われた音楽発表会では、コーラスさめがわが伸びやかな歌声を披露。また、鮫川中学校特設合唱部が振り付きで「Happiness」などを披露するなど会場を盛り上げました。



ダンスで会場を盛り上げた中学生

Book 図書館の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介します
鯉川村図書館 ☎ 29-1150

34丁目の奇跡

著：ヴァレンティン・デイヴィス
(あすなろ書房)



老人ホームで暮らすクリスは自分をサンタクロースだと言います。周りから変な人だと言われてもクリスは気に留めません。しかし、サンタクロースが現実にいるわけがないと、ついにクリスは裁判にかけられてしまいます…。1947年に映画と共に誕生し、1994年にリメイク映画も作られた本作は、今でも輝くクリスマスストーリーです。

午前7時の朝ごはん研究所

著：小田真規子(ポプラ社)



「朝ごはんはめんどくさい」と思っているあなたに。実験ノートみたいに「あれ試してみようかな？」と思わせる工夫がたくさん！読むだけで朝がちょっと楽しくなる。いつも朝ごはんを抜いて、10時半ごろに「あ、やっぱり食べとけばよかった…」と後悔する人には特に刺さる無理なく続けられそうな朝のヒントが見つかります。



第3土曜日は
家族一緒に読書の日

←新着図書はこちら



！ インフルエンザ流行中

11月から県南地域でも警報レベルでインフルエンザが流行しています。学年閉鎖、学級閉鎖の対応をとる学校施設が増えています。インフルエンザは飛沫や接触により感染します。体調管理に気をつけるとともに、引き続き基本的な感染対策をお願いします。

インフルエンザにならないために

こまめに
手を洗う



適度な
湿度を保つ



バランスの摂れた
栄養摂取を



咳エチケットを
心がける



俳句

山河いま村輝きて草紅葉

渡辺 家造

夕果な稲刈り眺む老夫婦

山本 恵子

稽田と山系の景夕果な

服部 啓一

冬うらら側転できた児のこぶし

鍋木 重正

曇天を透く篠笛の音色かな
(鹿角平にて)

斎須 信子

短歌

大根葉もったいないと炒めおり夕の
食卓一品となり

赤坂 和子

いが果が通せんぼする散歩道秋は忘
れず訪れにけり

藤田智枝子

人口を増やすと叫ぶ村づくり声はこだ
まにならず天高く

服部 啓一

草原に迷う魂篠笛の尾引く音かすか
時雨奏うらむ

須藤 幸子

投稿句

小の葉飛北風寒い師走かな

宗田 稔

奥の鯉川文芸クラブでは、会員を随時募集しています。初心者の方も大歓迎です。入会前に句会・短歌会を見学することもできます。詳しくはお気軽にお問い合わせください。

奥の鯉川文芸クラブ

会長 斎須信子

☎ 49-2123

村民【随想】リレー — (328)

不安の先にあった、あたたかな場所 坂本 和喜子さん

愛想に見られることが多く、人付き合いが苦手な私ですが、少しづつ人とのつながりを楽しめるようになりました。

毎日お弁当を作ってくれる(小言が多い)主人、元気いっぱいの子ども達、温かく接してくれる坂本家の家族と一緒にこれからも毎日を楽しく過ごしていきます。

最後に、大和と遊心と仲良くしてくれるみんな、そんなお友達のママさんパパさん、こどもセンターの先生方、地域のみなさん、いつも本当にありがとうございます。今後ともよろしく願います！

次号は、北條美子さん(押目)にバトンタッチ！



さかもと・わきこ ● 大字富田字反田在住。
31歳。趣味は毎日の晩酌とアニメ鑑賞。

SAKAMOTO WAKIKO

鮫川村役場

(代表・総務課) ☎ 0247-49-3111

FAX 0247-49-2651



災害時対応電話

☎ 49-3302・☎ 49-3303

■開庁時間 平日 8時30分～17時15分

住民票や所得証明書などをお求めで、業務時間内の来庁が難しい人は、事前に電話をいただければ時間外でも対応が可能です。土日祝日の交付はできませんのでご了承ください。

■ふるさと納税・寄付 10月受理分

※村社会福祉協議会への寄付は除く

・ふるさと納税 … 36件

・寄付 … 1件

▶明治安田生命保険白河営業所
所長 松田智徳(写真右)



■今月の納税

・村県民税第4期

・国民健康保険税第7期 … 【納期限:12月25日】

・介護保険料第7期

・後期高齢者医療保険料第5期

デマンド交通「さめばす」

(予約専用) ☎ 070-3791-0488



自衛官を募集しています

【申込受付期間】

●陸上自衛隊高等工科学校生徒 (一般)
令和8年1月15日(木)まで

●自衛官候補生

年間を通じて実施

詳しくは自衛隊募集ホームページをご確認ください。

問自衛隊福島地方協力本部
白河地域事務所

☎ 0248-24-0372



詳細はこちら



鮫川村国保診療所 年末年始のお休み

【 休診日 … 12月27日(土)～1月4日(日) 】

お薬が必要な人は、お薬が無くなる前に受診してください。インフルエンザ予防接種、新型コロナウイルス予防接種を希望する人はご連絡ください。なお、急病の場合は休日当番医の医療機関などをご利用ください。

問村国保診療所 ☎ 49-2028



訓練生を募集しています

福島県では、ハローワークに求職申し込みをし、受講あっせんを受けられる人を対象に、資格取得と正規雇用を目指す2年間の教育訓練を委託により実施します。

募集コース ①准看護師養成科②介護福祉士養成科

訓練会場 ①郡山看護専門学校(予定)②
県中・県南の介護福祉士養成施設

訓練期間 令和8年4月～令和10年3月(2年間)

受講料 無料 ※テキスト代などは個人負担

申込み 最寄りのハローワークへ期間内にお申し込みください。

申込期間 ①令和7年12月中旬～令和8年1月中旬②令和8年1月中旬～2月中旬

選考内容 作文、面接など

その他 新規学卒(受講申込時点で学校卒業後1年未満)で未就職者の人は応募対象になりません。

問県立テクノアカデミー郡山

☎ 024-944-1663



詳細はこちら



図書館から臨時休館のお知らせ

CLOSE

12月29日(月)～1月5日(月)



ひとり親家庭の就業を 支援します

現在の仕事について悩んでいませんか。県ではひとり親家庭のみなさんの就職・転職活動に伴走します。

相談は無料で秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

対象 ひとり親家庭、寡婦(夫と死別、離婚した後に結婚していない女性であって、かつて児童を扶養していたことのある女性)、ひとり親家庭の子、離婚を考えている父母など

サポート内容 履歴書や職務経歴書作成の支援、面接のアドバイス、求人情報の提供など

問福島県県南保健福祉事務所児童家庭支援チーム

☎ 0248-22-5647

✉ jidoukateishien_kennan@pref.fukushima.lg.jp

問東白川福祉相談コーナー

☎ 33-2225 (要予約)



年末年始の ゴミの収集・搬入受付

年末年始のごみの収集・搬入受付についてお知らせします。

令和6年4月より第2・第4日曜日にゴミを搬入する場合、事前予約が必要となりました。事前予約がない場合はお持ち帰りいただくことになりますので、必ず予約をしてください。

休業期間 令和7年12月27日(土)～令和8年1月4日(日)

※12月26日(金)まで通常営業

※12月28日(日)は第4日曜日のため、ごみの搬入受付日(事前予約必須)

予約方法 電話またはオンラインで予約

問東白クリーンセンター

☎ 43-0378



予約はこちら



ニホンカモシカを見かけたら

村内でニホンカモシカを目撃情報が寄せられています。カモシカは人に危害を与える動物ではありません。ほとんどの場合、人を見かけると山へ帰って行きます。

ニホンカモシカは国の特別天然記念物に指定されているため保護の対象となっております。見かけた際は次のとおりご協力をお願いします。

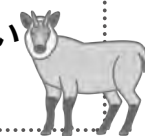
ニホンカモシカを見かけたら

☑ 近づかない

☑ 逃げ道をふさがない

☑ 立ち去る・見守る・驚かせない

※村への連絡は必要ありません。



もし、ケガで動けないニホンカモシカやその死骸を見つけたときは、教育課生涯学習係までご連絡ください。

問教育課生涯学習係

☎ 49-3151



熊出没注意

11月上旬に大字西山字大録田地内でクマの目撃情報がありました。クマの行動が活発になる早朝や夕方の作業時には、特に気をつけましょう。

＜熊の被害を防ぐには＞

- ・日の出前、日没後には徒歩による外出を控える
- ・単独行動を避ける
- ・ラジオなど音の出る物を携帯する

⚠クマを目撃したら

【日中】農林商工課農林畜産係

☎ 49-3113

【夜間】棚倉警察署

☎ 33-0110

